

## 聞くカトレーニングブック 見本教材の使い方

※本書『聞くカトレーニングブック』と『同トレーニング2』の違いは、「2」のほうが、難易度の幅が広がっています。学年別ではございませんが、「2」は幼稚園年長くらいから使い始めることができますし、難しい問題は高学年や中学生でも難しいでしょう。本書と2は、どちらからはじめてもかまいません。

- 本教材は聞きとり教材ですので、本文がお子さんに見えないよう配慮して、保護者・支援者の方が読みあげてください。
- はじめから順番にすすめていく教材ではありません。実施時間が合わせて5～10分程度になるよう、バランスよくさまざまな問題を組み合わせて実施してください。
- 長時間取り組んで内容をすすめるよりは、長期間にわたって少しずつ学習をすすめていくようにしてください。
- ★～★★★★の数は難易度を示し、★の数が多いほど難しくなります。ただし、お子さんによって得意・不得意はさまざまですので、あくまで目安としてお使いください。
- ★のあとに解答が記されています。
- 各節ごとに、指導のポイントを記してありますので、ご使用の際にご覧ください。

## 2：曜日課題（記憶、思考操作、注意）

### 指導のポイント

いくつかの曜日を示し、言わなかった曜日を答える問題です。曜日順に示される中で抜けている曜日を答えることは比較的易しいのですが、曜日順をランダムに示した場合には、曜日の記憶および並び替えが必要となり、難易度が上がります。まずはすべての曜日が順番に言えるかどうかを確認してから、課題に取り組んでください。

この課題では「足りない曜日を答えてください」という指示をはじめには出しません。ただ、しばらくこの課題をすすめると、足りない曜日をはじめから意識して聞くようになります。問題に対する聞き取りポイントをつかめるようになったことを誉めるとともに、「3番目に言ったのは何曜日？」など、ちがう観点からの問題を状況に応じて織り交ぜることで、より記憶に負荷をかけながら発展的に学習することもできます。

### ■ 1つ抜けた問題

① よく注意して聞いてください。

日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、土曜日。  
今言わなかったのは何曜日ですか？（★金曜日）

② よく注意して聞いてください。

日曜日、月曜日、火曜日、木曜日、金曜日、土曜日。  
今言わなかったのは何曜日ですか？（★水曜日）

□□③ よく注意して聞いてください。

木曜日、月曜日、金曜日、水曜日、日曜日、土曜日。  
今言わなかったのは何曜日ですか？（★★火曜日）

□□④ よく注意して聞いてください。

金曜日、月曜日、木曜日、日曜日、水曜日、火曜日。  
今言わなかったのは何曜日ですか？（★★土曜日）

## ■ 2つ抜けた問題

□□⑤ よく注意して聞いてください。

日曜日、月曜日、水曜日、木曜日、土曜日。  
今言わなかったのは何曜日と何曜日ですか？  
（★★火曜日、金曜日）

□□⑥ よく注意して聞いてください。

月曜日、火曜日、水曜日、金曜日、土曜日。  
今言わなかったのは何曜日と何曜日ですか？  
（★★日曜日、木曜日）

□□⑦ よく注意して聞いてください。

火曜日、土曜日、月曜日、金曜日、水曜日。  
今言わなかったのは何曜日と何曜日ですか？  
（★★★日曜日、木曜日）

## 支援の視点1 「見ていれば聞いている？」

話を聞く時には話者のほうを向くことが基本です。しかし聞くことが苦手なお子さんは、「見てはいるけれども聞いていない」ということがよくあります。話そのものに注意が向いていないのに話者のほうを見ているため、「聞いていたはずなのに……」という誤解が生じやすくなります。

指示や説明等をする際には、見ているだけでなく聞いていることも合わせて確認する必要があります。まず注意を向けて聞くように促していくとともに、大切なことは復唱させてみるなどの工夫も必要です。

## 支援の視点2 「うなずいていれば大丈夫？」

笑顔でうなずいていたはずなのに指示通りに動けなかった、忘れていたということはありませんか？ 本来「うなずき」は聞いていることや理解していることを示すものですが、聞くことが苦手なお子さんの中には、理解ができないときに笑顔になったり、分からなくても「はい」と相づちを打ったりする子もいます。そのため誤解も生じやすく、失敗体験にもつながりやすいので注意が必要です。分からない時の対応を教えてあげたり、聞き返された時にはもう一度言ってあげたり、復唱させて伝わっているかどうか確認をとってみるのもいいでしょう。

## 9：イメージ課題（想像、記憶、思考操作、注意）

### 指導のポイント

聞いたことを元に実際の場面や状況をイメージする課題です。お子さんによっては音だけで記憶をたどることもありますが、聞いたことをしっかりと頭の中で思い描くように促してください。正答を教える際には図示してもいいでしょう。

□□① 頭の中でイメージしながら聞きましょう。

白い紙の上に青い紙が乗っています。

下にある紙は何色ですか。（★白）

□□⑥ 頭の中でイメージしながら聞きましょう。

お皿が2枚あります。

左のお皿にはチョコレートケーキが乗っています。

右のお皿にはチーズケーキが乗っています。

お皿の場所を入れ変えると、左にあるのは何ケーキですか。

（★★チーズケーキ）

□□⑨ 頭の中でイメージしながら聞きましょう。

道を歩いていると、郵便局がありました。

次に警察署があつて、次に消防署がありました。

警察署の一つ前には何がありましたか。

（★★郵便局）

## 2章 聞く力「総合」トレーニング

### 1：生活場面での聞き取り（短文）

#### 指導のポイント

ここからは、総合的な聞き取り問題になります。学校や日常生活の様々な場面を設定し、聞き取る練習をします。正解を出すだけでなく、学習後には「いつ」「どこへ」「何をするのか」など、話を聞くポイントを再度確認して、日常生活へつなげてあげてください。

□□② 金曜日の帰りの会で先生がいました。

「明日は土曜日ですが、学校がありますよ。代わりに月曜日がお休みになります」

さて、学校に行くのは土曜日、月曜日のどちらですか。

（★★土曜日）

□□⑤ 先生がお話をしています。

「次の土曜日と日曜日に、商店街でお祭りがあります。時間は朝の9時から夜の8時までです。ただし必ず大人の人と一緒にいくことと、6時までには家に帰るように気をつけてください。雨の時には中止になるそうです」

さて、2つ注意がありました。どのような注意でしたか。

（★★大人と一緒にいく、6時までには帰る）

### 【著作権およびご利用について】

※本見本教材の著作権は、株式会社ククアに帰属します。

※本見本は、お子さまに実際にお試しいただくことを目的として公開しています。

ご家庭・学校・療育機関等でのおためし用として、ご利用いただくことができます。

※なお、本見本教材の全部または一部について、転載、送信、再配布、販売、その他これらに類する行為は固くお断りいたします。

© KUKUA Co., Ltd. All Rights Reserved.